

平成30年度の予算と主要な施策

「町民とともに幸せづくり・まちづくり」

「子育て基盤の充実で、子どもたちの笑顔あふれるまちを目指して」



今月の特集では、3月町議会で可決された平成30年度当初予算について、その概要と主な取り組みをお知らせします。

本年度におきましては、「子育て基盤の充実で、子どもたちの笑顔あふれるまちを目指して」をキーワードに、子育て・教育環境の整備を重点に、障がい者・高齢者への取り組みにも力を注ぎ、約4万2千人の町民の皆さまが心地よく暮らすことができる町を目指した予算編成をしました。

平成30年度に行う主な事業は、4・5ページをご覧ください。

一般会計

一般会計は、町が行う仕事の大部分を賄う予算で、町税や国・県からの支出金などを財源にしているもので、町民の皆さまに最も関わりの深い予算といえます。

特別会計

特別会計は、特定の財源で特定の事業を行うもので、土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・幸田駅前土地区画整理事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・下水道事業特別会計があります。

企業会計

企業会計は、税金を使わず、一つの会社のように独立採算制で事業・経理を行うものです。本町では、水道事業会計がこれにあたります。

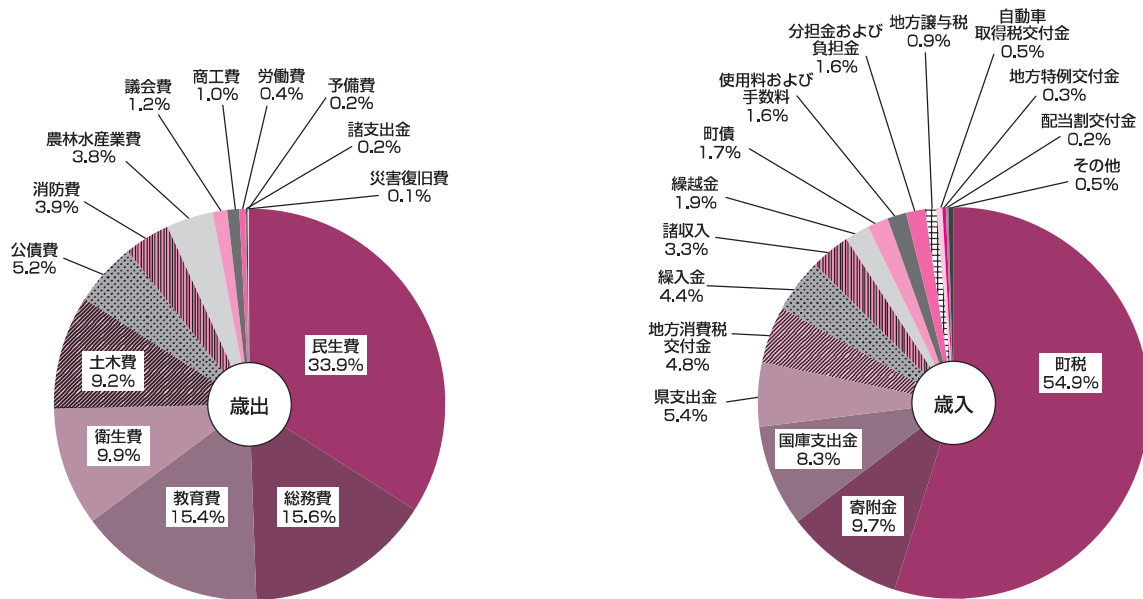
平成30年度当初予算

(▲減)

会計区分	本年度予算(千円)	前年度予算(千円)	伸び率(%)
一 一般会計	15,520,000	15,380,000	0.9
特別会計			
土地取得特別会計	21,393	38,076	▲43.8
国民健康保険特別会計	3,427,827	3,844,720	▲10.8
後期高齢者医療特別会計	409,344	400,615	2.2
介護保険特別会計	1,853,009	1,943,598	▲4.7
幸田駅前土地区画整理事業特別会計	223,769	334,365	▲33.1
農業集落排水事業特別会計	356,190	348,557	2.2
下水道事業特別会計	753,489	753,581	0.0
水道事業会計			
収益的支出	731,116	732,295	▲0.2
資本的支出	377,349	371,637	1.5
合計	23,673,486	24,147,444	▲2.0

歳入歳出予算総額155億2千万円

平成30年度幸田町一般会計予算歳入歳出款別構成比 (%)



歳出

費目別に見ると、民生費が全体の33.9%を占め、次いで総務費15.6%、教育費15.4%となっています。民生費では障がい者福祉サービスの扶助費の増加が大きく、対前年度で5千万円増(1.0%増)、総務費では、ふるさと寄附業務に係る委託料の割合が大きいものの、総務費全体では1億3千万円減(5.0%減)、教育費については北部中学校増築工事や小学校給食用エレベーター改修工事などにより、対前年度で1億5千万円増(6.6%増)となり、歳出全体では1億4千万円増の予算額となりました。

歳入

最も大きな割合を占めている町税は、対前年度6億5千万円増(8.3%増)の85億2千万円(構成比54.9%)と増収を見込みました。財源不足を埋めるため財政調整基金から4億2千万円の取り崩し(繰入金)を予定しています。また、借金である町債は建設事業に係る費用の補てんとして、2億7千万円の借入を予定しています。平成29年度末現在での町債現在高は48億円で、平成30年度には43億円へと減少し、財政の健全性を意識した起債に努めました。

主な区分の内容

歳入…1年間のすべての収入

【町税】 町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など歳入の貴重な財源

【繰入金】 積立してある基金(貯金)の取り崩し、または、特別会計から繰り入れるお金

【国庫(県)支出金】 特定の事業の財源の一部として、国(県)から支出されるお金

【町債】 大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金

【地方譲与税】 国税として徴収し、地方に譲与する地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税

歳出…1年間のすべての支出

【民生費】 お年寄りや子ども、障がい者などの福祉や医療などに使われるお金(児童手当など)

【総務費】 町職員の給与や町の財産の管理などに使われるお金

【教育費】 小・中学校、ハッピーネス・ヒル・幸田の運営や生涯学習講座などに使われるお金

【公債費】 町債を返済するお金

主な取り組み

●は新規

① 安全・安心 いのちと暮らしをまもるぞ

町民が安全で安心して暮らすことができるよう、安全性、利便性、快適性の高い都市環境の整備に努めます。

防災・減災

- 全国瞬時警報システム受信機整備
- MCA無線機購入
- 福祉避難所資機材整備
- 幸田高校防災備蓄倉庫設置
- アンダーパス施設安全対策
- 木造住宅耐震改修補助

交通・防犯

- 通学路交通安全対策
- コミュニティバス(えこたんバス)運行
- 公共交通対策
- 交通安全施設整備
- 防犯灯・防犯カメラ設置
- 地域安全ステーション運営

消防・救急

- 火災原因調査自動車整備
- はしご自動車オーバーホール
- 消防水利整備
- 消防指令センター共同運用
- 消防団運営

道路・橋梁

- 町道芦谷1号線道路改良

都市基盤

- 道路新設改良事業
- 生活道路整備事業
- 橋梁点検・補修
- 調整池浚渫しんせんせつ
- 幸田駅前土地区画整理事業推進
- 土地区画整理事業(石堀・六栗・里)推進

下水道(公共下水・集落排水)

- 企業会計移行事務
- 集落排水と公共下水道の統合推進
- 新規接続申請に伴う整備
- 集落排水、公共下水道施設の維持管理

上水道

- ライフライン機能強化重要給水施設配水管布設工事
- 土地区画整理関連配水管布設工事

② 環境

自然豊かに美しく

自然との共生を図り、緑豊かで環境にやさしいまちづくりを推進します。

環境

- 一般廃棄物処理基本計画改定
- 新エネルギーシステム設置等補助(HEMS・エネファーム・蓄電池・太陽熱利用システム)
- 次世代自動車購入費補助
- 使用済み食用油の回収
- 生ごみ処理容器等設置費補助
- 自然観察会・環境学習会

都市公園

- クリーンパトロール事業
- 資源回収事業支援
- 内池公園東屋改修
- 新公園灯LED化
- あいち森と緑づくり事業
- 公園遊具・施設整備補修

③ 産業振興

幸田から全国へ世界へ

培われた地域産業を生かし、まち全体の調和の中で創造性の高い産業振興および新産業の創生に努めます。

農業・林業

- 農業次世代人材投資事業(旧新規就農総合支援事業)
- 農林業活性化支援
- 鳥獣害対策事業
- 多面的機能支払交付金
- こうた産業まつり
- 箕輪町農業体験交流

商工・観光・勤労者

- 幸田駅前駐輪場整備
- 商工観光業活性化支援
- 小規模企業等振興資金預託・保証料補助
- 幸田しだれ桜まつり、幸田彦左まつり等助成

企業立地

- 新IOT推進ラボ事業
- ものづくり研究センター事業(人材育成)

④ 健康・福祉

お年寄りまでみんなが元気

町民一人一人が、心身ともに健康で生きがいを持って暮らしていける地域社会を形成していきます。

健康づくり

- 子育て世代包括支援センター設置
- 健康こうた21計画の推進
- 健康マイレージ事業
- 人間ドック・住民健診
- 各種がん検診(無料クーポン事業)
- 各種健康講座
- 各種予防接種(●おたふくがぜ助成)
- 母子健康手帳交付
- 妊婦健康診査(14回公費負担)
- 乳幼児健康診査
- 乳幼児健康相談・各種教室
- こんにちには赤ちゃん訪問
- 各種健康づくり団体育成・活動支援
- 高齢者、障がい者福祉・介護保険
- 新 手話通訳者(嘱託) 配置
- 新 災害時避難行動要支援者システム構築
- 障がい福祉サービスの給付
- 障がい者自立支援の推進

児童福祉・保育園

- ・日常生活用具、補装具給付
- ・介護サービスの給付
- ・介護予防対策の推進
- ・地域包括支援センターの機能強化
- ・認知症施策の推進
- ・幸田保育園大規模改修
- ・事業所内保育事業への地域型保育給付費の給付
- ・認定こども園への施設型給付費の給付
- ・土曜日終日保育・休日保育
- ・子ども医療費無料化（中学校卒業まで）
- ・児童クラブ運営
- ・私立幼稚園就園奨励費・入園料補助、園児健康診断補助
- ・児童館・多世代交流施設運営

スポーツ

- ・青少年健全育成
- ・成人式
- ・こつた夏まつり、こつた風揚げまつり
- ・少年少女発明クラブ補助
- ・スポーツ教室
- ・町民スポーツ大会
- ・地区スポーツ大会支援
- ・町民大運動会
- ・新春駅伝・ファミリージュヨギング大会

学校教育

- ・小学校給食用エレベーター改修
- ・中学校部活用楽器購入
- ・非常勤養護教諭配置
- ・北部中学校校舎増築

⑤ 教育・文化 きたえよう！こころとからだ

ライフステージに応じた教育・文化・学習活動の場づくり、環境づくりなど生涯学習の推進に努めるとともに、将来を担う子どもたちの健全育成を推進します。

社会教育

- ・新 六栗公民館駐車場造成
- ・島原藩主深溝松平家墓所保存整備事業
- ・歴史と文化の友好交流
- ・生涯学習講座



北部中学校増築校舎イメージ図

- ・少人数、通級指導対応教育の推進
- ・学級補助嘱託教員、理科支援員、日本語指導教員、母国語対応支援員、特別支援介助員、学校図書館

⑥ 協働・参画 みんなのちからで续くまち

- ・指導員、校務員配置
- ・外国人英語講師配置
- ・奨学金制度
- ・教育相談活動の充実

町民が積極的に行政に参加できる開かれたまちの実現を目指します。また、長期的な視点に立ち健全性を重視した、バランスのとれた行財政運営の確立に努めます。

コミュニティ

- ・地区集会施設維持管理
- ・コミュニティ活動支援

広報・広聴

- ・新 タウンプロモーション

- ・広報紙発行
- ・町政モニター
- ・ケーブルテレビ番組作成

国際化・多文化共生

- ・高校生カンボジア派遣
- ・ポルトガル語通訳配置
- ・国際交流事業補助
- ・全保育園で英語あそび事業

指定管理者制度

- ・新 障害者地域活動支援センター
- ・町民会館、図書館、町民プール
- ・高齢者生きがいセンター、高齢者ふれあいプラザ
- ・道の駅「筆柿の里・幸田」

行財政運営

- ・新 議場放送設備改修
- ・新 本庁舎第2委員会室空調設置
- ・コンビニ納税
- ・行政改革大綱に基づく事務事業の推進
- ・公債費の抑制
- ・借地解消（用地購入）

本町の行財政運営は、財源不足から貯金にあたる財政調整基金の取り崩しに頼る予算編成が継続しています。歳入の柱の法人町民税は、企業収益の増収などの影響により増収が見込まれていますが、未だ予算を許さぬ状況に変わりはありません。このような状況ではありませんが、多世代にわたる町民の皆さまが住みやすいまちづくりを目指し、後年度負担を配慮し、選択と集中の視点に立ち、行財政運営を進めます。諸施策の実施にあたって町民の皆さまとの対話の中からいただいた貴重なご意見を可能な限り取り入れて、まちづくりを進めていきます。

問合せ

財政課 財政グループ
☎ 62-11111
(内線353)

